

第6回 生物・化学汚染による健康障害の建築的対応 特別研究委員会
議事録

記録：長谷川

- A. 日 時：2007年5月9日 17:00～19:00
- B. 場 所：日本建築学会会議室
- C. 出席者：<委員長>吉野 博 <幹 事>加藤信介
<委 員>池田耕一, 石川 哲, 桑沢保夫, 篠原直秀, 長谷川兼一, 森川泰成,
坂部 貢 (順不同, 敬称略)
- D. 資 料：No.6-0 議事次第
No.6-1 委員会名簿
No.6-2 第5回 議事録
No.6-3 検討課題のキーワード
No.6-4 委員会の活動計画
No.6-5 疫学的調査WGによる調査企画案
No.6-6 遺伝的要因とシックハウス症候群
No.6-7 住宅のかび・ダニ等の実態調査報告会
- E. 議 事
1. 前回議事録の確認が行われた。(資料 No.6-2)
 2. WGの進捗状況が報告された
(ア) 加藤WG：水中生物(メダカ)をセンサーとして室内空気汚染の程度を把握することを検討中。
(イ) 吉野WG：資料 No.6-5に基づき、計画している疫学的調査の概要が説明された。次回に詳細な計画案を提示する。
 3. ホームページは随時更新されていることが報告された。
 4. 資料 No.6-3に基づき、検討テーマのキーワードが確認された。本資料は委員会の報告書目次として考える。
(ア) 「1. 室内におけるカビ汚染の実態」に資料 No.6-7を含める。
(イ) 「3. 各種建材からのMVOCの放散量」では「MVOC等の汚染物質」とする。
(ウ) 「5. 低用量曝露のリスク評価」では、今後資料収集に努める。
(エ) 電磁波の問題も検討テーマに含める。
 5. 委員会の活動計画(資料 No.6-4)について確認された。今後も話題提供と情報収集を中心に進めることとする。
(ア) 話題提供
✓ 「桑沢委員：ホルムアルデヒド濃度とカビ繁殖との関係」を追加する。
(イ) シンポジウム・ワークショップの計画
✓ IAQVECで企画するワークショップは柳沢委員、熊谷委員が検討中。
(ウ) 研究費の申請
✓ 住宅総合研究財団の研究助成が採択。
 6. 「遺伝的要因とシックハウス症候群」と題して、坂部委員より話題提供(資料 No.6-6)が行われた。
 7. 次回：欠席の先生方の都合を伺い、7月13日(金)か7月18日(水)のいずれかに設定することとなった。
→ 7月18日(水) 17:30～19:00 於：建築会館会議室
話題提供は、加藤先生(加藤WGからの報告)か大澤先生(資料 No.6-7)にお願いします。